

# 名古屋SF読書会11 地球の長い午後 2018・4・29

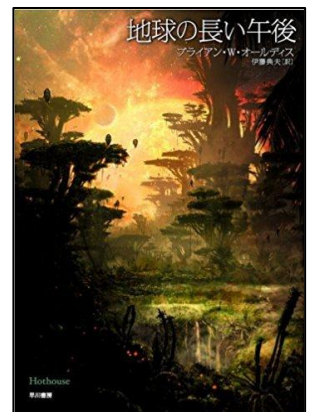
名古屋SF読書会URL <http://www.ne.jp/asahi/science/fiction/dokusyokai/>

【あらすじ】・数十億年未来、太陽は巨大化し、地球は自転を止め、常に太陽を向いている側では、植物が全てを支配していた。生き残った動物は虎蜂、木蜂、草蟻、銅白蟻などほんのわずか。  
 人類の身長は五分の一となり、皮膚は緑色に変化している。九歳のグレンは、リリヨーが率いる十  
 八人のグループに所属していたが、大人たちは離脱し、子供たちだけが残される。土吸鳥に乗っ  
 けて、海と陸の境界にある（無人地帯）に辿り着く子供たち。新リーダーのトイと対立し、グループ  
 を追放されたグレンは、ついて来たポイリーとともに知能を持ったアミガサタケに憑りつかれる。  
 ・二人は〈黒い口の麓〉で暮らす〈牧人〉と出会い、精霊と間違われ、大切に扱われる。アミガ  
 サは二人の脳から記憶を辿り、人間の進化にアミガサが関わっていたことを知る。黒い口から音楽  
 が聞こえ、引き寄せられる。危うく助かり、牧人のヤトマーとともに〈魚取り〉のところへ。魚取  
 りは尻尾で繋がれた木の奴隷であった。グレンたちは奴隷を解放するが、怒った木にポイリーが殺  
 されてしまう。グレンとヤトマー、奴隷たち（ボンボン）は船に乗り、海へと向かう……。  
 ・島に辿り着いたグレンたちはしばらくそこで過ごす。アミガサの莢に入って海を渡り、陸地に戻る。  
 ヤトマーはそこで赤ん坊を産み、レアレンと名づける。アミガサは胞子を放出する時期を迎え、レ  
 アレンを新たな宿主にしようと狙う。そんな中、グレンたちは、犬を思わせるトンガリ、彼らが海  
 憑と呼ぶイルカに似た生き物ソーダル・イーと出会い、ヤトマーはイーからグレンを救う方法を教  
 わる。グレンはようやくアミガサから解放された。代わってソーダル・イーに憑りついたアミガサ  
 は、グレンたちに世界の成り立ちを明かし、ツナワタリに乗って他の星系に向かうことを提案する。  
 また、再会したリリヨーたち（鳥人と化している）にも一緒にツナワタリに乗るよう誘われるが、  
 グレンは拒否し、ヤトマーやレアレンと地上で暮らすことを選ぶのだった。

【主な登場植物】 黙 …ふっくらした毛につつまれた傘の骨を持つ 蓊 の果実。  
 日陰畏 …二枚の四角い顎と長い歯を持つ人喰い植物。  
 鬼 喰 …木の幹に身体を埋めて獲物を待つ恐ろしい植物。  
 火 壺 …透明化した莢で光を集め、火を起こす。  
 網 渡 …全長1マイルの巨大な植物のクモ。月と地球の間を行き来する。  
 箒 苺、刺草苔、家胡桃、跳蔓、水袋、跳棒、吹矢毛氈、涎木、走鞭、飛鱈、  
 ヒルカズラ ミドリダマン ワタアミダケ カミフブキ カヤクジュ ジゴクヤナギ オドリ  
 蛭 葛、緑 騙、綿網茸、紙吹雪、火薬樹、地獄柳、踊 モップ、ピョンピョン草、風船  
 イブクロ ツブテドリ ハイハイ アシタカ  
 胃袋、飛磔鳥、這々、足高、他多数。



文庫初版 1977年1月 角田純男・画



文庫新版 2008年9月 富安健一郎・画

## スタッフ&ゲスト紹介

名古屋SF読書会は初心者からマニアまでをモットーにやさしく丁寧、かつ面白い読書会を目指しています。今回は従来通りの路線に戻り、海外の名作を取り上げました。今後よろしくお願いたします。

- 1) 片桐翔造 2) @gern  
 3) SFを読んだりミステリを読んだりB級映画を見たり。

- 1) 渡辺啓一 2) @eleking  
 3) いささか偏りのあるSF読者です。話題作はなるべく追っていますが、読書量がついていかないのが悩み。

- 1) 舞狂小鬼(洞谷) 2) @okiraku\_k  
 3) 本好きオヤジです。舞狂小鬼というHNでブログとかツイッターをやっています。好きな小説ジャンルは幻想怪奇、SF、ファンタジー、ミステリーなど。オールディスの読者会たのしみです！

- 1) 渡辺睦夫  
 3) SFファン。音楽ファン。  
 4) J・ティプトリー・Jr、C・スミス、ディックなど

- 1) 長澤唯史 2) @Sonopapa  
 3) 大学で文学とか教えてます。授業ではナボコフとかボルヘスとかディックとかヴォネガットとかル・ギンとかクリストファー・プリーストとか読んでます。

- 1) 渡辺英樹 2) @gonza63  
 3) 海外SFファン。早瀬耕『プラネタリアムの外側』の解説を書きました。よかったら読んでみてください。

中村融/なかむらとおる(翻訳家)  
 中央大学在学中より海外SFの研究、評論、翻訳など幅広い活動を行う。1987年にジャック・ヴァンスの「五つの月が昇るとき」で翻訳家としてプロデビュー。以降、新作の翻訳紹介、古典の新訳、SF/ファンタジーのアンソロジー編集など、多方面で活躍中。